

映像事業

Imaging Division



“ミラーレス一眼等の画期的な製品を通じ、心の豊かさの実現に貢献します”

イメージングディビジョンヘッド

杉本 繁実



- ミラーレスへの集中により蓄積された独自技術
- 高性能レンズの小型・軽量化設計、製造力
- ミラーレス市場(日本)において高いシェアを維持

S
強み

- 巨大市場である米国、中国での低シェア

W
弱み

- 市場全体のミラーレスシフトの加速により、従来の一眼レフユーザーからの買い替え、買い増しが期待される

O
機会

- ミラーレス市場における競争激化
- スマートフォンやタブレット端末等のさらなる進化

T
脅威

市場環境と見通し

デジタルカメラ市場の急速な縮小に対応するため、事業規模の適正化に向けた構造改革を進めました。売上が縮小しても継続的に利益を生み出せる事業構造とするべく、コスト構造の見直しや、収益性の高い交換レンズを強化する等、収益構造の改善を図っています。

各社のミラーレス一眼カメラ市場への参入により競争環境は激しさを増していますが、当社はマイクロフォーサーズシステム規格に準拠したミラーレス一眼カメラの開発に注力しています。今後も選択と集中、リスクコントロールを継続しながら、ミラーレス一眼システムの販売を強化していきます。

市場シェアとポートフォリオ

国内市場シェア(ミラーレス一眼カメラ)

デジタルカメラ分野

その他分野

キヤノン、ニコン、ソニー、パナソニック 他

オリンパス
約20%



デジタル一眼カメラ(ミラーレス一眼カメラ)/コンパクトデジタルカメラ/
デジタルカメラ関連製品

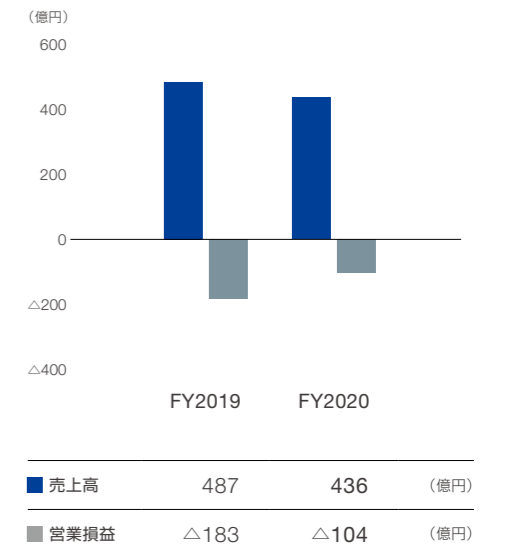


ICレコーダー/
双眼鏡

重点施策

- 1. 事業構造改革の継続的推進**
 - 高付加価値ミラーレス(主にOM-Dシリーズ)-交換レンズ(PROシリーズ)の開発に注力
 - より効率的な製品立ち上げと量産ができる体制を構築
- 2. 市場変化への対応力向上**
 - 市場規模・当社シェア等をモニターし、状況変化に応じて各拠点・機能の効率化、マーケットの選択と集中を事業全体で実施
- 3. 在庫リスクの極小化**
 - 製品供給リードタイム、特定地域への偏在リスクを低減することにより在庫回転日数を短縮

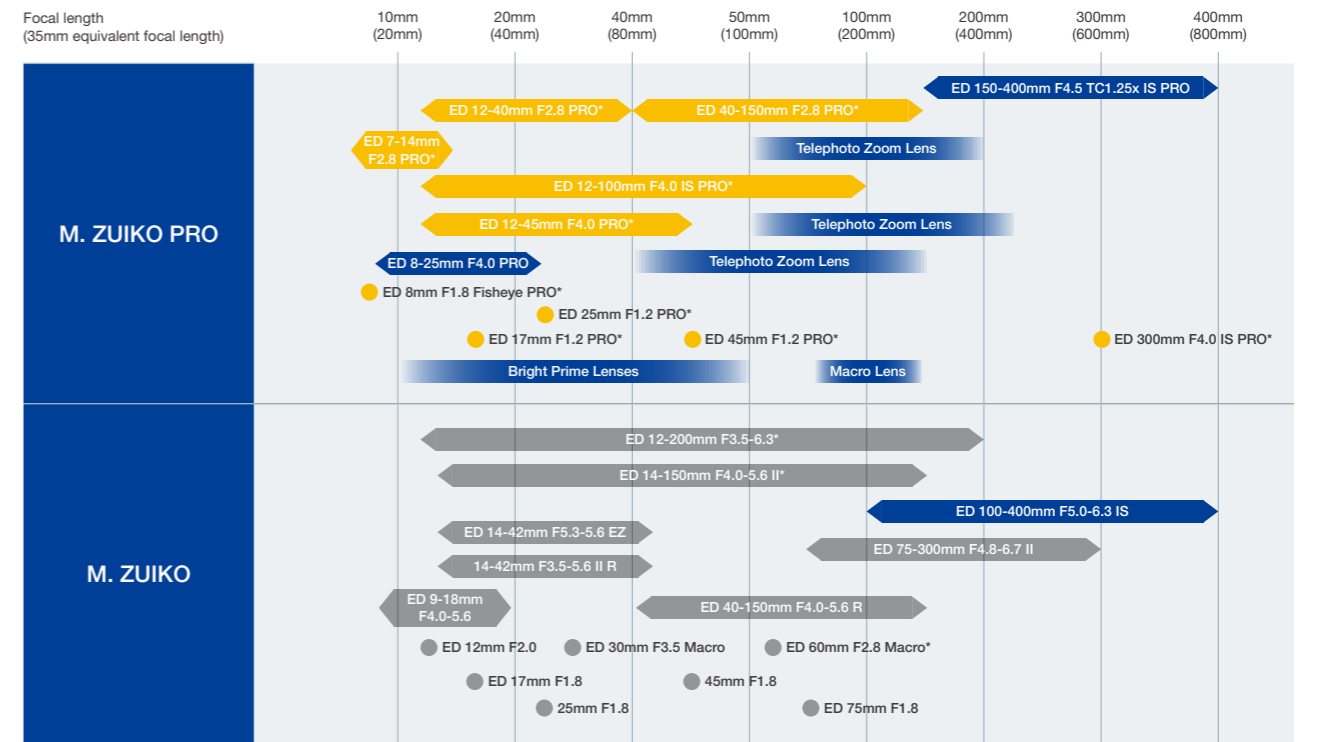
通期実績



収益性の改善に向けた施策

高付加価値ミラーレスとともに交換レンズの開発に注力しており、2020年7月にはPROシリーズを中心とした今後開発予定のレンズのロードマップを開示しました。今後も引き続き、マイ

クロフォーサーズシステムの特長である高画質と小型軽量による圧倒的な機動性を最大限に活かせるよう、レンズラインアップを拡充してまいります。



2020年7月時点

Future Lenses *Dustproof / Splashproof